

共生社会の実現
に向けて



Q インクルーシブ教育って？

A すべてのこどもが同じ場で共に学び、共に育つことを目指し、個別の教育的ニーズに応じて多様な学びができる支援体制を整えること

きめ細かな対応！

小学校児童支援の推進

非常勤講師を派遣し、インクルーシブ教育の推進

学校に応じた少人数学級！

中学校少人数学級の実施

非常勤講師を派遣し、個に応じた指導の一層の充実に
向けて取り組みます

学ぶ意欲も育成！

学力ステップアップ支援員配置

一人一人の理解に応じたサポートをする支援員を配置

教育的ニーズを把握！

特別な支援を必要とする こどもたちの支援

適切な就学相談の実施と特別な支援を必要とする
こどもたちへ介助員の配置

こどもたちを支える！

日本語指導協力者派遣

外国から来たこどもたちの日本語の勉強をサポート

全小・中学校に設置！

フリールールの設置

教室の他に児童・生徒が自分のペースで生活・学習
できます（学校によって呼称が異なる場合があります）

心の笑顔を応援！

スクールカウンセラー、 こころスマイル支援員の配置

相談しやすい校内支援体制の充実

一人一人に適した対応！

学校支援プロジェクト

定期的な学校訪問やプロジェクトチーム会議で、
管理職や担当教員に対し、児童・生徒指導について助言

個に応じた支援や学習指導の実施！

「なかま教室・なかまルーム」

様々な要因で学校に登校できない児童・生徒に対し、
社会的自立を目指します

／ 毎日が充実！こどもたちの笑顔があふれる ／

あつぎの教育



すべてのこどもたちの可能性を引き出す、
個別最適な学びの取組を進めていきます！



新しいGIGAスクール端末へ入れ替え



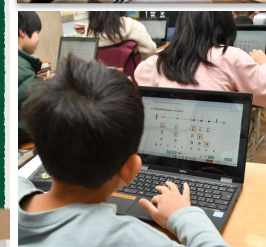
AI型デジタルドリル教材導入

一人一人の理解度や学習進度に応じた個別学習が可能



GIGAステップアップ支援員配置

支援員を増員し、各校の支援を強化



LINE



Instagram

厚木市公式SNSで

最新情報をチェック！



YouTube



X (旧Twitter)

PR動画も
発信中！



厚木市教育委員会 教育部 教育総務課 教育企画係

☎046(225)2663 ✉7800@city.atsugi.kanagawa.jp

厚木市子育て・教育サイト
おきくな〜れ!!





▲地域の皆さんによる見守り活動



▲田植え体験など、地域に密着した体験活動が充実

負担軽減

教材等の経済的負担軽減

教材・教具消耗品や実習材料等の一部を公費負担



▲消耗品などの費用負担を軽減

要保護及び準要保護児童・生徒就学援助 特別支援学級等就学奨励

経済的理由で就学が困難な児童・生徒の保護者及び特別支援学級等に就学する児童・生徒の保護者に、経費の一部を支給

学校整備

校庭整備

快適な屋外施設環境の中で学校生活を送ることができるよう、改修工事を実施



特別教室や体育館へエアコン設置

令和8年度までに全校実施

依知南小、緑ヶ丘小、北小学校施設整備

地域、学校、行政が力を合わせて、厚木の
こどもたちの未来のために取り組んでいます。

元気に登校

地域全体で通学路の安全確保

8時



睡眠教育の推進

睡眠への意識と生活習慣の向上を図り、
心も体も健康になり、自分を大切に
気持ち育みます



▲地場農畜産物を使用した献立や県央やまなみ地域の献立も提供

12時

小・中学校給食費の無償化

令和6年度からスタート

食育の推進

地場農畜産物を使用した給食で地域への理解を深め、食べ物への感謝の心を育みます

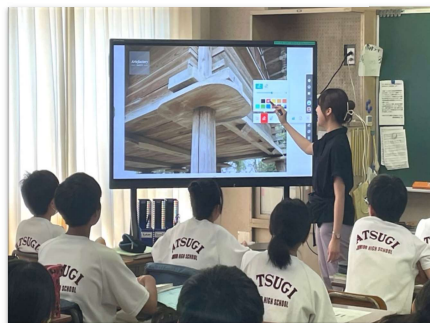
家庭教育

家庭教育の情報提供

児童・生徒等の保護者向けの講演会等を開催

家庭教育学級の開設を支援

開設支援の交付金を交付



▲電子黒板を使用した授業

10時

英語教育

英語を母語とするALTを配置

グローバルな交流を実施

ニュージーランドを始め、海外現地校と
児童・生徒の交流及び教員研修

SEL教育基金を活用

企業・大学が「科学に対する興味・関心」を
育む教室等を実施

小中学校水泳授業

小学校水泳授業で屋内プール等を活用

協働活動

地域学校協働活動

地域全体で子どもたちを育み、より良い地域づくりを目指すため、地域学校協働活動推進員等への研修やフォーラムを開催

コミュニティ・スクール

「地域とともにある学校」を目指し、
学校・保護者・地域が一体となり、
子どもたちを育みます

本に親しむ環境の充実

- ・読書活動の習慣化と読書が好きなこどもを育成するため、中学生に図書館カードを交付
- ・いつでも利用できる電子図書館の蔵書を充実



▲ALTの楽しい授業で生の英語に触れる

新しい学校づくり

小中一貫教育の推進

義務教育9年間を見通し、
中学校区ごとに研修等を実施

学校規模の適正化の検討

より良い教育環境のため、
適切な学校の規模や体制を構築



▲地域の皆さんと
新たな学校づくりに向けた
意見交換会を実施

NEW

日本語指導プレクラス

来日直後のこどもが日本語での会話や学校生活について集中的に学ぶ教室を設置。外国にルーツを持つ子どもたちとの学校生活を通して、国際理解の促進にもつなげます